

先進地視察の候補について

1 実施目的

- 重点課題を解決するため効果的と考えられる取組について、調査審議をする上での参考として、先進地事例の調査研究を行う。

2 実施時期

- 平成19年11月頃

3 候補

(1) 団塊世代活動支援センター事業

- 団塊世代の知識や経験を活かすため、起業やコミュニティビジネス、ボランティア活動等を支援している団塊世代活動支援センターを視察の候補とする。

視察事項（事業）	自治体名	概要
団塊世代活動支援センター事業	埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> 団塊世代を対象に、新たな活動のスタートを目指している人に対して、各人の様々なライフスタイルに応じた活動を支援するため、平成19年4月にセンターを整備した。 起業、コミュニティビジネス、再就職、ボランティア活動などの相談や、交流会やセミナーを実施している。

(2) 認定こども園（幼・保連携型）

- 少子化の進行や核家族化、夫婦共働き世帯の増加など、子育てを取り巻く社会環境が変化している中、市民の保育に対するニーズも多様化している。
- 平成18年10月に始まった「認定こども園制度」は、多様化する保育・教育ニーズへの対応や地域における子育て支援等に効果的であるため、「認定こども園（幼・保連携型）」について、先進地視察の候補とする。

視察事項（事業）	自治体名	概要
認定こども園 （幼・保連携型）	習志野市	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園とは、就学前の子どもに保育・教育を一元的に提供するとともに、地域の子育て家庭に対する総合的な支援を行うものである。 これにより、多様化する保育・教育ニーズへの対応や地域における子育て支援、待機児童の解消等を図る。 習志野市では、公立の幼・保連携型認定こども園を設置（H19.2 県の認定）している。

(3) 浜松市もてなしのまちづくり事業等

- ・ 浜松市は宇都宮市と同様に「おもてなし」を基本として、市を挙げてバリアフリー化に取り組み、都市構造自体のユニバーサルデザイン化を目指している福祉のまちづくりの先進地であるため視察の候補とする。

視察事項（事業）	自治体名	概要
「浜松市もてなしのまちづくり事業」等	浜松市	<ul style="list-style-type: none">・ 浜松市では、「思いやりの心が結ぶやさしいまち・浜松」の実現をめざし、ユニバーサルデザインを市政の柱の一つと捉え、ユニバーサルデザインのまちづくりに市民とともに取り組んでいる。・ 平成 12 年度に都市計画課内にユニバーサルデザイン室を設け、市民の目にわかりやすい形でユニバーサルデザインの推進をスタートした。・ 平成 15 年度には、浜松市ユニバーサルデザイン条例の施行に伴い、横断的な調整を行う企画課に移管することによって、全庁的な推進を図ることとした。・ 平成 19 年 4 月の政令指定都市移行により、ユニバーサルデザイン課となり、ユニバーサルデザインの更なる推進に取り組んでいる。